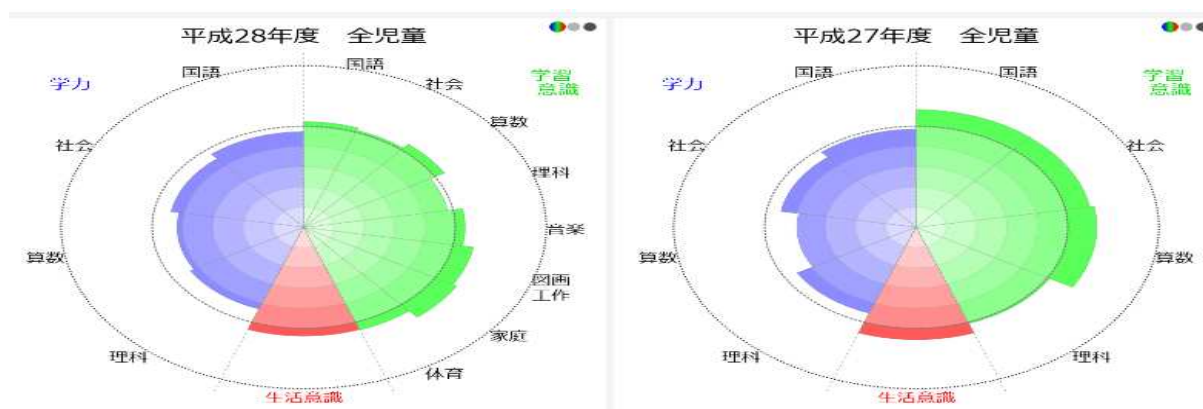


# 平成28年度 横浜市学力学習状況調査の結果報告

## 1 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

平成27年度から28年度の変化を見ると、学年により、それぞれの特長があり、27年度4年生（現6年生）は、学力、学習意識共に伸びが見られました。特に国語の学力に関しては、「書く能力」「話す聞く能力」が市平均を超えていました。27年度3年生（現5年生）は、社会科の学力が向上していました。27年1～2年生（現3～4年生）は、学習意識は高いが、全体を通して学力の伸びに課題が見られました。

全学年を通して「勉強は好き・まあまあ好き」と答えている児童がどの教科も8割近くいるので、全体として高い学習意欲を学力に結び付けていこう、さらに指導内容を工夫・精選していきたいと思います。基礎的な計算力の向上を図るとともに、身に付いた知識が定着する活動をどう展開させていくのか、考えていきたいと思っています。



## 2 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

「授業では、自分の考えを発表していますか。」に対して、「よくしている」「どちらかといえば、よくしている」を含めると、市平均を大きく上回っていました。また、昨年度まで課題として挙がっていた、横浜市平均と比べて、学力に課題が見られる児童の中の睡眠時間が少ない児童の割合が高いことや、読書時間が少ない傾向にあるといった課題については、今年度についてはその傾向が見られておらず、改善が見られました。また、子ども自身が回答している「1日の勉強時間」についても、横浜市の平均を上回っており、「家庭学習をしている」という意識をもった児童が多くいることがわかります。家庭と連携しながら、家庭学習と子どもの学力をつなげていけるように取り組んでいきたいと思っています。特に本校の変わりぬ特徴として「活用問題の方が高い」ということがあります。基礎基本の学力の定着についてもさらに取り組んでいきたいと考えます。

### 授業では、自分の考えを発表していま..

4 授業では、自分の考えを発表していますか。

